

社会福祉調査の基礎

【時間数】

印刷教材授業 90 時間（五学期）

【担当講師】

辰巳 佳寿恵 ・ 平尾 竜一

【学習の目標・内容】

目標

- 1 社会調査の意義と目的及び方法の概要について理解する。
- 2 統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。
- 3 量的調査の方法及び質的調査の方法について理解する。

内容

- 1 社会調査の意義と目的
- 2 統計法
- 3 社会調査における倫理
- 4 社会調査における個人情報保護
- 5 量的調査の方法
- 6 質的調査の方法
- 7 社会調査の実施にあたっての ICT の活用方法

【学習のポイント】

社会調査に苦手意識を持つ人がいるかもしれません。この機会にしっかり勉強しましょう。客観的な根拠をもつ社会的調査の意義と必要性を理解してください。社会福祉の科学性に対して、多くの意見や見解があることも事実です。しかし、それが社会福祉調査の基礎を社会福祉士が学ばなくてもよいという理由にはなりません。少なくとも、社会福祉調査の基礎を知って、はじめて自分の意見が言えるのではないのでしょうか。

統計学は、調査によって得られるデータを処理し、調査結果（従属変数）と考えられる原因（独立変数）との相関や因果関係を明らかにする手法です。

社会調査における守るべき基準＝倫理は、社会福祉の倫理と基本的には同じです。倫理委員会の必要性なども合わせて理解してください。個人情報保護のプロセスの重要性とともに、プライバシー保護についても考察してください。

量的調査の方法として、近年は共分散構造分析（構造方程式モデル）が社会福祉研究の分野においても主流となりつつあります。実践的には SPSS と Amos（エイモス）といった統計処理ソフトの基本的入力も大切でしょう。また、グラウンデッド・セオリーアプローチに代表される質的調査においても、インタビューの分析における基礎をしっかりと

りと学んでください。

今日、社会福祉実践者が研究者と共同したりしながら、学会や研究発表大会で報告する機会も増えています。

【主教材】

『最新・社会福祉士養成講座⑤ 社会福祉調査の基礎』（中央法規出版）

【推薦参考図書】

◎『推計学のすすめ』（佐藤信、講談社）

：社会調査法の本ではありませんが、量的調査の基本が網羅されています。1968年初版ですが、基礎から統計を勉強・理解してみたい人は必読。

◎『実証研究の手引き－調査と実験の進め方・まとめ方』

（古谷野亘、ワールドプランニング）

：法則性を解明するための手段としての調査と実験、データ処理の方法について、わかりやすく解説した入門書。

社会福祉調査の基礎（課題①）

問題 1 指定テキストを読み、量的調査の方法と質的調査の方法をそれぞれ整理しなさい。
〔学校指定原稿用紙使用・8枚〕

問題 2 以下の設問の正誤（○・×）を答えなさい。

- 1 質的調査における非参与観察法とは、調査者自身が調査対象集団と生活や場面をともしながら集団等を観察する調査法である。
- 2 ダブルバーレル・クエスチョンとは、1つの質問文に2つ以上の意味を含んでいる質問のことで、回答者に対してより好ましい質問形式と言える。
- 3 一般的な調査の設問文において、可能な限り、専門用語や略語などは使うべきである。
- 4 調査票を作成する場合、先行する質問がすぐ後の質問の回答に影響を及ぼすことを「キャリーオーバー効果」というが、関連する質問を調査票で離れた場所に配置することは、キャリーオーバー効果を防ぐ有効な方法となりえる。
- 5 社会調査において、対象者・参加者に対する、インフォームド・コンセント=説明の上での同意が必要とされる。
- 6 自由回答法とは、質問に対し自由に回答することを求めるものであり、調査で、回答をあらかじめ選択肢として用意しておく方法をプリコード法という。
- 7 調査の報告では、原則、調査対象の匿名性が守らなければならない。
- 8 フォーカス・グループインタビューは、あるテーマ・事柄について、調査対象の集団に質問する手法であり、グループ対話形式で行なう調査法で、座談会形式でインタビューを行い、その回答（発言）から質的データを採取するため、対象者の発言の相互作用の活用と、対象者の生の声を直接に確認することが可能である等の利点がある。
- 9 郵送調査法とは、調査対象者に質問紙を郵送し、記入後に返送してもらう調査方法で、一般的には調査期間が数か月になることもあり、また、郵送費等のコストがかかることが特徴である。
- 10 KJ法とは、川喜田二郎が、フィールドワークで収集したデータをまとめるために考案した手法で、データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解や文章化し、解釈する、いわばブレインストーミングなどによって得られた発想を整理し、問題解決に結びつけていくための方法である。
- 11 無作為抽出法とは、標本調査における抽出法の1つであり、任意抽出、ランダム・サンプリングとも言われる。母集団に属するどの単位も、等しい確率で標本に入るように標本を抽出することである。
- 12 グラウンデッドセオリー法とは、量的データから理論構築を行なう方法で、対象者へのインタビューや観察などを行ない、得られた結果をまず文章化し、それを細分化し、特徴的な単語や内容をコード化し、データを蓄積していく方法である。
- 13 トライアングレーションとは、1つの研究において異なったデータ収集のテクニックを用いるプロセスである。
- 14 横断調査とは、調査対象の時間経過による変化を意識せずに、調査実施の時点における「複数の研究対象の実態・意識」を横断的に比較調査する調査方法である。
- 15 縦断調査とは、一時点で1回限りしか行わないのではなく、一定の時間間隔を繰り返して行う調査である。
- 16 量的アプローチとは、量的調査・研究、すなわち定量的研究・調査対象における量的な側面に注目し、数値を用いた記述、分析を伴う調査・研究の方法のことである。
- 17 質的調査は、自由面接・インタビューや、観察、他にも文書（日記等）、すなわちドキュメント分析・調査、歴史的記録などから質的データ（定性的データ）を得る、社会学、人類学などで用いられてきた調査方法である。
- 18 社会福祉調査の準備においては著作権の侵害のおそれがあるため、先行研究等を参考にしてはならない。
- 19 ショアーは研究における七つの不正の1つとして盗用をあげている。
- 20 標本とは、母集団から標本（サンプル）を選び出す作業である。
- 21 標本抽出とは、母集団から選び出した（サンプリング）データの集まりである。
- 22 半構造化面接とは、非構造化面接と構造化面接の中間の方法と言える。

厚生労働省指定通信教育

問題 3 次の問いに対する答えを選びなさい。

- 1 1位、2位、3位と言った順位や大中小の分類、学歴のように対象をある特性の違いによって、順序関係のあるいくつかのカテゴリーに分類する尺度を何というか。
A：名義尺度 B：間隔尺度 C：順序尺度
- 2 気温のように各カテゴリーの間隔が等しく、測定値間の差の関係が成り立つ尺度を何というか。
A：順序尺度 B：名義尺度 C：間隔尺度
- 3 電話番号、性別、国籍などの基準に従って、対象を特性の異なるいくつかのカテゴリーに分類する変数の尺度を何というか。
A：名義尺度 B：間隔尺度 C：順序尺度
- 4 調査において、調べたい対象のデータ全体を何と呼ぶか。
A：標準偏差 B：子データ C：母集団
- 5 国勢調査のように調査対象者を全員くまなく調査する方法を何というか。
A：全数調査（悉皆調査） B：一斉調査 C：サンプル調査
- 6 調査対象者の一部を調査し、その結果から全体を推定する方法を何というか。
A：郵送調査 B：インタビュー調査 C：標本調査
- 7 すべての対象が標本に選ばれる確率が等しくなるように標本抽出する方法を何というか。
A：推計調査法 B：等位間隔法 C：無作為抽出法
- 8 ある対象に対し、時間回隔をあけて何回もデータを取る調査のことを何というか。
A：横断調査 B：複数調査 C：縦断調査
- 9 どの程度安定（一貫）した測定を行えるかを示す係数を何というか。
A：アルファ係数 B：信頼（性）係数 C：妥当性係数
- 10 複数のポイントを一度に尋ねようとする質問、つまり形式上は1つの質問文でありながら、内容的には2つ（以上）の質問を同時に問うている質問のことを何というか。
A：ハロー効果質問 B：ステレオタイプ質問 C：ダブルバーレル質問
- 11 一般社団法人社会調査協会が定めた、社会調査に関する倫理をまとめたものは何か。
A：調査指針 B：研究道德綱領 C：倫理規程
- 12 前に配列された質問が、後の質問の回答に与える影響効果を何というか。
A：ハロー効果 B：論理誤差効果 C：キャリアオーバー効果
- 13 調査員が対象者を訪問して質問紙を配り、回答の記入を依頼し、一定期間後に回する方法を何というか。
A：配票（留置）調査 B：訪問調査 C：集合調査
- 14 量的データの分析において、それぞれのカテゴリーや階級に属するデータの数を何と呼ぶか。
A：因子 B：係数 C：度数
- 15 度数分布表を棒グラフで表した図を何というか。
A：ライングラフ B：ピクトグラム C：ヒストグラム
- 16 複数の項目を縦軸にとり、縦軸の原点を1つにまとめて放射線状にした図を何というか。
A：レーダーチャート B：折れ線グラフ C：円グラフ
- 17 2つ以上の変数のカテゴリーを組み合わせ、すべての組み合わせの度数を集計し

厚生労働省指定通信教育

たものを何というか。

A：クロス集計 B：分散集計 C：構造集計

- 18 2つの調査結果などの「平均値の差」に対して、その違いが偶然なのか（よくあるデータのバラつきなのか）、それとも何か本質的な違いがあるのか、つまり2つのグループの平均値の差を検証する方法を何というか。

A：t検定 B：分散分析 C：カイ二乗検定

- 19 2つの変数のとる値の間に何らかの関係があるとき、何と表現されるか。

A：因果 B：正比例 C：相関

- 20 あらかじめ質問項目や順序を決めておき、どの対象者に対しても同じように行われる面接を何というか。

A：構造化面接 B：インタビュー C：順次面接

- 21 質問項目はほぼ決められているが、ある程度の自由度をもって進める面接をなんというか

A：半構造化面接 B：自由インタビュー C：構造化面接

- 22 グレーザーとスト劳斯によって開発された、質的データから理論構築を行うための方法を何というか。

A：システムモデル B：比較事例法 C：グラウンテッドセオリー法

- 23 カードづくり、グループ編成、図解化、文章化の手順で質的データの分類・集約を行い、課題解決の糸口を探す方法を何というか。

A：KJ法 B：カード分類法 C：可視化法

問題 4 質問紙の作成方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを2つ選びなさい。

- 1 質問項目の順番が後になるほど、回答者の集中力が低下するため、回答者の集中力が低下しない程度の質問数が望ましい。
- 2 質問紙における回答の形式は、自由回答法を主とし、必要に応じて選択枝法を用いることが望ましい。
- 3 濾過質問とは、一般的な質問から徐々に調べたい質問に焦点をしばっていく手法である。
- 4 回答の形式として選択枝法を用いる場合、想定される選択枝を網羅するため、選択枝の数が多いほど望ましい。
- 5 キャリーオーバー効果を避けるため、質問の配置は、内容に関係なくランダムな順番で行うことが望ましい。

問題 5 横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 二変数の関連について、横断調査の場合は、因果関係を推論すること困難である。
- 2 パネル調査における「パネルの摩耗」とは、第2回・第3回と回を重ねるごとに回答者数が増加していくことをいう。
- 3 A市の中だけで一度だけ行う市民意識調査は、全国規模ではないので横断調査とはいえない。
- 4 同じ内容の世論調査を、1月に九州・沖縄地方・北海道、2月に関西地方、3月に関東地方でと日本を縦断し最後に、東北地方・北海道で行えば、縦断調査といえる。
- 5 今年、B市で標本抽出を行って市民意識調査を行い、来年再び同じB市で標本抽出を行って同じ内容の市民意識調査を行うならば、パネル調査といえる。

問題 6 質的調査における記録とデータに関する次の記述のうち、最も適切なものを2つ選びなさい。

- 1 フィールドワークにおいてメモを取る際には、現場の人々の不信感、警戒感を引き起こさないような配慮が必要である。
- 2 メモを基に、フィールドノートに観察・考察したことを記載していく際には、時系列的に整理するのが望ましい。
- 3 インタビューにおいて対象者から録音を許可された場合には、録音された音声は正確な記録となるので、メモを取る必要はない。

厚生労働省指定通信教育

- 4 質的調査の対象となる文書資料は、官公庁などの公的機関による記録のみであり、情報が正確である保証のない手紙や日記などの私的文書は含まれない。
- 5 アクションリサーチの過程では、主にフィールドノートの記録を用い、実験室における実験データや質問紙調査のデータは用いない。

問題 7 調査者の倫理に関する次の記述のうち、最も適切なものを2つ選びなさい。

- 1 仮説と異なるデータが得られた場合でも、包み隠さずそのデータも含めて報告書をまとめなければならない。
- 2 学術研究上の調査は、調査対象者に強制的に回答を求める必要がある。
- 3 調査対象者への謝礼は、謝礼目的で迎合的な回答をする恐れがあるので、禁じられている。
- 4 調査対象者に調査の協力依頼をする際には、誤解がないように電話ではなく、文書で行わなければならない。
- 5 公益社団法人日本社会福祉士会が作成した社会福祉士の倫理綱領および行動規範には、調査や研究に関する専門職としての倫理責任についての項目がある。

問題 8 社会調査の対象に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査は、市場の構成要素である企業は調査対象とせず、社会の基本的な構成要素としての個人を対象とする。
- 2 日本の国勢調査は、日本の国民についての調査であり、日本常住の外国人は対象に含む。
- 3 総務省が行う労働力調査は、調査時点で就労しているか又は求職中の人を対象とし、就労も求職もしていない人は対象としない。
- 4 調査対象者が一定期間記帳した家計簿は、社会調査の集計・分析の対象とならない。
- 5 社会調査は、平均的な人々の姿を知るために行うものであるから、内閣総理大臣のような特別な地位にある個人は社会調査の対象とはいえない。

問題 9 次の記述のうち、社会調査の実施における倫理的配慮の観点から、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査の対象者の抽出台帳に、選挙人名簿を利用する際の調査目的には、制約がない。
- 2 調査への協力が自由意志によるものであることはよく知られていることなので、調査の対象者に説明しなくてもよい。
- 3 質問紙調査で収集したデータは、信用できる学術機関が管理しているデータアーカイブスであっても、個人を特定できないように匿名化する必要がある。
- 4 中学生を対象に調査を実施する際には、調査の目的などを本人が理解できるように丁寧に説明し同意書に署名をしてもらった上であれば、調査を実施してもよい。
- 5 調査票の回答内容及び対象者に関する情報は、共同研究者間であっても、個別に特定できないように加工し、利用する必要はない。

問題 10 社会福祉調査の類型に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 悉皆（全数）調査は、対象に定められた調査単位を残らず調べる方法であり、もれなく調査が行われ、正確な資料が得られるなら、最も信憑性の高いものとなる。
- 2 標本調査は一部分の標本を抽出し、一定の誤差の範囲内で全体を推定でき、現在の量的調査の主流となっている。
- 3 典型調査は、調査対象範囲の決定にあたって、調査目的に照らした、典型的な範囲を選んで行う、事例研究を中心とした調査をいい、今日では、主として調査地の選定などに用いられている。
- 4 郵送調査は、対象者に調査票を直接郵送して記入を依頼し、記入の上返送してもらう調査法であるが、郵送システムの多様化により、一般的に直接回答を依頼する調査方法よりも回収率が高い。
- 5 現地調査の方法の1つには配票調査（留置調査）があるが、調査員が質問紙の配布時と回収時に対象者と直接面接をすることがないため質問内容の誤解や、誤記入の危険性が高い。

問題 11 社会調査の基礎に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 現地調査（フィールドワーク）は、全数調査を実施することは困難な場合もあり、標本調査も考えられる。
- 2 独立変数とは、従属変数とも呼ばれる。

厚生労働省指定通信教育

- 3 統計調査の有意抽出法には層化抽出法や系統抽出法がある。
- 4 ダブルバーレル・クエスチョンとは、質問の論点が1つに絞られている質問形式である。
- 5 グラウンデッドセオリーとは、量的調査である。

問題 12 社会調査の倫理的責任に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査の実施にあたり、研究倫理委員会の審査を通過していることが望ましい。
- 2 プライバシー保護の観点から、生活歴に関するインタビュー調査はすべきではない。
- 3 事例研究において、対象者の匿名性を確保する意味で、名前はイニシャル化にするのが望ましい。
- 4 個人情報が特定できないようなデータは、慎重に管理する必要性は低い。
- 5 調査対象者に社会調査の目的を説明していれば十分である。

問題 13 質問用紙法に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 質問に対する答えの中心化傾向をさけるため、選択肢は3段階法にすべきである。
- 2 ダブルバーレル・クエスチョンを避けるために、出来る限り閉じられた質問、具体的な質問を心掛ける必要がある。
- 3 質問を考える前に、理論的な仮説を構築しておく必要はない。
- 4 できるだけ予想結果に近いデータが得られるために、質問を誘導的に構成する技法を焦点化という。
- 5 キャリーオーバー効果とは、ある質問への回答が、次の質問に対する回答に影響を及ぼしにくい傾向があることである。

問題 14 質的な調査研究の組み合わせとして適切なものを1つ選びなさい。

- 1 あらかじめ決めておいた質問項目によって面接を進める手法を構造化面接という。
- 2 社会福祉士間であれば、資質向上に必要な場合、個人情報データを自由に交換できる。
- 3 推計統計学に基づき、得られたデータ数量的に解析し、その結果を質的に考察することが、質的調査である。
- 4 グラウンデッドセオリー法が日本社会福祉学会に唯一認められている質的調査法である。
- 5 ある程度の定型化された質問や順番が定められているものの、面接の途中で新しい質問を加えたり、対象者により自由に話してもらえる時間を加えたりするのが、非構造化インタビューである。

問題 15 社会調査に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 ケーススタディは、統計調査に比べて、少数の事例を把握することになり、質的な検討や把握はより困難となる。
- 2 質問票の回収率は、郵送よりも集合調査の方が高い。
- 3 自由回答欄を一定の基準から分類することを、コーディング作業という。
- 4 質問の作成に当たっては、ダブルバーレルにならないように心がけなければならない。
- 5 調査員の習熟性は、配票調査よりも、面接調査の方が求められる。

問題 16 社会調査に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 有意抽出法による限定された質的調査において、母集団の代表性を統計学的に推定することは困難である。
- 2 標本の統計量と母集団の統計量には、常に誤差が存在し、厳密に排除することはできない。
- 3 変数aと変数bのクロス集計表から算出されたカイ2乗値が、その棄却域を上回った場合、帰無仮説は棄却されない。
- 4 ダブルバーレル・クエスチョンとは、1つの質問文の中に2通り以上の要素が入っている質問文のことである。
- 5 調査者自身が対象の中に入り、一緒に活動をしながらデータを得る方法を参与観察法という。

問題 17 量的調査における標本抽出に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 単純無作為抽出法は、母集団の規模にかかわらず作業時間が節約できる効率的な抽出

厚生労働省指定通信教育

- 法である。
- 2 系統抽出法では、抽出台帳に何らかの規則性がある場合、標本に偏りが生じる危険がない。
 - 3 標本抽出では、男女別や年齢別の割合など、あらかじめ分かっている母集団の特性を利用してはならない。
 - 4 用いる尺度の問題から測定上の誤差が生じることを標本誤差という。
 - 5 機縁法は、アンケートやインタビュー調査などで、調査を行う人が友人や知人などの紹介によって調査対象者を選ぶ方法のことである。

問題 18 社会調査における調査票を用いた方法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 郵送調査は、回答者が十分に時間をかけて回答することができるため、質問項目数の上限がないというメリットがある。
- 2 集合調査は、特定の団体が集まる会合の場で実施できるため、代表性のある標本を確保しやすいというメリットがある。
- 3 電話調査は、近年、固定電話に加え、携帯電話を持つ人が増えてきたものの、回収率が低いというデメリットがあり、必ずしも主流の調査方法とは言えない。
- 4 留置調査は、調査票を配布したその場で回答がなされないため、他の方法に比べて回収率が低いというデメリットがある。
- 5 インターネット調査は、インターネット上で調査対象者を公募する場合、代表性の偏りが生じないというメリットがある。

問題 19 調査手法としての観察法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 統制的観察と非統制的観察の違いは、研究者が部外者として観察を行うか否かである。
- 2 フィールドワーカーの調査者としての立場は、「完全な参加者」から「完全な観察者」まで4段階があるが、よりよいデータ収集のためには「完全な観察者」の役割を目指すのが望ましい。
- 3 フィールドワークにおいて、観察されたことのメモをとる場合には、周囲の状況に配慮し、場合によってはその場で速やかにとることをせず、あとで記述することが望ましい。
- 4 参与観察において、その集団生活に慣れ、調査対象に究極まで同化することは望ましいことである。
- 5 観察法は質的データを収集するための方法であり、量的データの収集においては用いられない。

問題 20 社会調査におけるデータ収集方法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 個別面接調査法は、個々の対象者に調査員が直接面接して行う自計式の調査である。
- 2 RDD (Random Digit Dialing) 法を用いた電話調査では、対象とする調査地域の電話帳を用いる。
- 3 集合調査法は、一種の集団効果が作用してバイアスが生じることがある。
- 4 留置調査法では、対象者本人の回答であることを確認できないというデメリットがある。
- 5 郵送調査法においては、未回収の対象者に対して、催促、再協力依頼を行うことは決して行ってはならない。

問題 21 測定 of 尺度水準に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 名義尺度とは、性別や血液型といった単に対象を分類することに意味があるものであるが、最頻値（最も多いもの）を求めることはできない。
- 2 順序尺度は、測定値の大小のみに意味があるが、それらの平均を計算することには意味がない。
- 3 間隔尺度は、測定値の順序だけでなくその間隔（=差）にも意味がある。
- 4 比例尺度（比率尺度、比尺度）では測定値がゼロとなる点が決まっていない。
- 5 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度のうち、中央値・算術平均・標準偏差の三つの統計量すべてを有意義に計算することができるのは、比例尺度のみである。

問題 22 標本調査の長所と短所に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

厚生労働省指定通信教育

- 1 関心の対象である全員ではなく、その一部分の人々にのみ調査を行う、適切に設計・実施すれば、標本調査の標本誤差が生じない。
- 2 訪問個別面接調査を行う場合でも、本来は標本調査より全数調査を行う方が誤差を生じないので望ましい。
- 3 標本抽出法には確率抽出法と非確率抽出法があり、実施が可能でさえあれば、偶然に左右されない非確率抽出法を行うのが望ましい。
- 4 無作為抽出が適切に行われていれば、調査対象者が多くても少なくとも調査から得られる知見に違いはない。
- 5 標本調査によって母集団の性質についての統計的な推測ができるのは、母集団に含まれるすべての人が同じ確率で選ばれ得るような標本抽出の手続きをとる場合である。

問題 23 質問紙作成の注意点に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 質問する順番によって回答が変わることがあるので、回答してほしい選択肢が選ばれやすくなるような順番に意図的に配列するようなことは望ましくない。
- 2 「喫煙や飲酒を毎日しますか？（はい／いいえ）」のようになるべく 2 つの事柄を 1 つの質問で尋ねるのが効率的である。
- 3 「増税すると福祉予算が増えますが、あなたは消費税率の引上げに賛成ですか」のように回答者がよりよく考えて回答できるように質問に説明を含めるのが望ましい。
- 4 「あなたは年金支給開始年齢の引上げに賛成ですか」と聞く代わりに「賛成ですか、反対ですか」と聞くと、表現が簡潔でなくなるので望ましくない。
- 5 「個人の自由に最大限の配慮をしないケアは認められないという考えに反対する立場にあなたは賛成ですか、反対ですか」という質問は、よく考える機会を提供し、理想的な質問と言える。

問題 24 社会調査における面接法に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 面接法では、対象者との間に十分な信頼関係を築くことが重要であるが、いわゆる依存の状態を目指すのは好ましくない。
- 2 非構造化面接では、対象者に自由に回答してもらうことになるので、調査内容に精通していない調査員を採用して、面接を実施してもらうのがよい。
- 3 半構造化面接では、インタビューのおおむね半分程度の時間を、質問内容や質問の順番などが詳細に決められた質問紙によって面接が進められる。
- 4 面接における会話を録音できない場合には、正確な面接記録を作成するために面接時はできるだけ会話の書き取りを優先しなければならない。
- 5 非構造化や半構造化で行われることが多いフォーカス・グループインタビューでは、質問内容や討議のルールなどを示したインタビューガイドを準備する必要はない。

問題 25 社会調査における個人情報保護に関する次の記述のうち、正しいものを 2 つ選びなさい。

- 1 調査データを事例として公表する場合、その事例が特定されるおそれがある場合は、例えば、実際の年齢ではなく「前期高齢者」などと記述するのが望ましい。
- 2 個人情報の保護は、調査に直接かわりのない第三者に対しての個人情報の漏えいに注意することなので、共同研究者への個人情報の秘匿も考える。
- 3 調査に使用した調査原票は、社会的にも貴重な文書であるので、集計・分析等が終了した後個人情報を削除し、データアーカイブスに登録することを義務づけられている。
- 4 インフォームドコンセント（説明と同意）を求めるかどうかは、調査者の判断にゆだねられる。
- 5 調査の依頼文書を作成する際には、依頼者側の個人情報保護の観点からも、電話番号や電子メールのアドレスは掲載してはいけない。

問題 26 事例研究法に関する次の記述のうち、正しいものを 2 つ選びなさい。

- 1 観察対象となる個体が示す値を集合した、集団の分布に関心がある。
- 2 研究対象は、質的データにあり、事例研究法における量的データは対象としない。
- 3 事例の置かれた社会的文脈や個別の局面、状況の詳細な理解を目的とする。
- 4 手紙や日記といった私的文書も、収集対象とはなりえる。
- 5 探索的目的に有効であるが、説明的目的には有効ではない。

問題 27 グループインタビューに関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選び

厚生労働省指定通信教育

なさい。

- 1 質問は、参加者が明確に回答できるように選択式を基本とする。
- 2 対象者の選定は、無作為標本抽出によって行われる場合が多い。
- 3 参加者間の相互作用が起こるように司会者が配慮、促進する。
- 4 記録係は、参加者の非言語的反応について記録をする必要はない。
- 5 一度に参加する人数は、多いほど良い。

問題 28 質問紙を用いる調査方法に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 留置法では、調査票回収時に調査員が、本当に調査対象者が回答を記入したかどうかのチェックを様々な工夫により行うことが望ましい。
- 2 訪問面接法、留置法、郵送法、電話法を自記式か他記式かに着目して分類すると、訪問面接法と電話法が自記式であり、留置法と郵送法が他記式である。
- 3 犯罪や性行動など、多くの調査対象者が自分からは答えたがらない質問内容については、郵送法よりは調査員が訪問して質問する訪問面接法の方が適している。
- 4 訪問面接法では、調査員と調査対象者が面接することになるが、両者の関係によって回答結果が影響を受けることはない。
- 5 他記式に比べて自記式は、社会的に望ましい内容に同調する回答の選択肢を選びがちになる。

問題 29 ソーシャルワークの評価方法の 1 つである単一事例実験計画法に関する次の記述のうち、正しいものを 2 つ選びなさい。

- 1 調査対象者を実験群と統制群に分けて観察・測定を行う。
- 2 PIE(Person-in-Environment)を用いて、個人の変化のみを扱う。
- 3 個人、家族、小集団に対する介入の評価に用いる。
- 4 介入前の段階から繰り返して観察・測定を行う。
- 5 ベースライン期（介入前期）の評価は不要である。

問題 30 社会調査におけるコンピューターやインターネットの活用に関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

- 1 国勢調査では、インターネット、オンラインで回答ができる。
- 2 インターネット調査は、調査対象がインターネット利用者に限定されるため目標母集団に照らして、調査漏れが生じることはない。
- 3 発言の当事者を特定できないインターネット上の掲示板の書き込みは、社会調査の分析対象として活用することができうる。
- 4 調査票調査の自由回答や介護記録の記述など大量の文字データの分析には、コンピューターを活用することができない。
- 5 国の統計データについては、1 つに集約されたポータルサイトが整備されていない。

問題 31 4 種類の尺度水準、すなわち名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 カテゴリーごとの分類ができるのは、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の三つだけである。
- 2 大小関係を示すことができるのは、名義尺度と比例尺度の 2 つだけである。
- 3 意味のある算術平均を算出できるのは、間隔尺度と比例尺度と順序尺度の 3 つだけである。
- 4 中央値を算出できるのは、順序尺度と比例尺度と間隔尺度との 3 つだけである。
- 5 最頻値を算出できるのは、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の 3 つだけである。

問題 32 調査の手法に関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選びなさい。

- 1 ライフストーリー・インタビューの実施においては、非構造化面接によって聞き取りを進めるのがよい。
- 2 質的データを収集するインタビューや観察などと、量的データを収集する質問紙調査などを組み合わせて行う調査の手法のことを、単一法という。
- 3 アクショナリサーチでは、真理を追い求める理論的研究の立場よりも、問題解決を目指すという価値指向の立場が重視される。
- 4 エスノグラフィーでは、調査者の客観的立場を維持するために、参与観察によってデータを収集してはいけない。
- 5 フォーカスグループの活用においては、異なる意見が幅広く収集されることよりも、グループとして一致した意見を取りまとめることが期待される。

以下の資料を読み、各問題に解答しなさい。（問題 33、問題 34）

I 社会調査の目的と意義

1. 社会調査

(1) 社会調査の定義

社会調査(social research)とは、社会に関する事象や問題について考えるために問題意識や目的を持ってデータを収集・分析・検証する一連の過程をいい、国や自治体が行う調査、学術目的の調査、世論調査を指す。社会調査を行う上で重要ことは目的に従って適切な方法と適切なデータを収集・分析を行うこと。調査票のデータ内容や対象者に関する情報は、共同研究者であっても個別に特定できないように匿名化し、活用する。

(2) 社会調査の分類

社会調査は、データの処理方法による分類として量的調査と質的調査に分類される。

- 量的調査…集めたデータを統計的に処理する調査。集めたデータの平均や分散、比率などを知ることができる。
- 質的調査…集めたデータを記述的に処理する調査。集めたデータを質的に把握することができる。さらに調査対象を選ぶ方法による分類として量的調査は全数調査と標本調査に質的調査はデータを集める方法による分類で観察法と面接法に分類される。

2. 社会調査の歴史

(1) 日本における社会調査の歴史

新聞記者であった横山源之助が 1899（明治 32）年に著した『日本之下層社会』では、貧困者の実情について述べた。さらに第二次世界大戦前の農村調査として有賀喜左衛門が 1938（昭和 13）年に著した『農村社会の研究』、鈴木栄太郎が 1940 年に著した『日本農村社会学原理』がある。また、第二次世界大戦前に調査票を用いた社会調査には戸田貞三が 1933 年に著した『社会調査』がある

(2) 各国における社会調査の歴史

① イギリス

ロンドン調査・・・チャールズ・ブースが、1886 年から実施した調査。貧困への対策は、国の問題として、組むべきであるとした。貧困状態の判定基準として貧困線を使用。

ヨーク調査…シーボーム・ラウンツリー(Rowntree, B. S.)が行った貧困調査。3 回にわたって調査を実施し、その結果を『貧困一都市生活の研究』として著した。

② アメリカ

アンダーソンによるホームレス調査…アンダーソン(Anderson, N.)が、ホーボー（鉄道などで州を渡り歩く労働者、放浪者）と呼ばれる人たちを対象として 1920 年代に調査を行った。

ミドルタウン調査…リント夫妻(Lynd, Robert and Heien)が 1930 年代に行った。

ヤンキー・シティ調査…ウォーナー(Warner, W. L.)が 1940 年代に行った調査で、コミュニティ調査とされている。

問題 33 第二次世界大戦前に調査票を用いて社会調査を行った日本人は誰か

問題 34 イギリスで貧困線を用いて社会調査を行った人物は誰か

厚生労働省指定通信教育

Ⅱ 社会調査をめぐる法と倫理 (問題 35、問題 36)

1. 統計法の概要

日本においては 1947 (昭和 22) 年に統計法が制定され、2007 (平成 19) 年には全面的改正が行われた。主な改正ポイントは①調査票情報等の管理義務と守秘義務、目的外利用の禁止 (罰則つき)、②専門的かつ中立的公正な調査審議を行う統計委員会の設置などがある。なお、統計委員会はそれまで内閣府に設置されていたが、2016 年 4 月より総務省に移管された。また、統計法では行政機関の長がインターネットの利用その他の適切な方法により基幹統計に関して政令で定める事項を公表することや、基幹統計調査*と誤認させる調査の禁止なども規定している。

(1) 公的統計の体系的整備

国勢統計、国民経済計算および行政機関が作成する統計のうち、重要なものを基幹統計といい、国勢統計と国民経済計算以外の基幹統計は総務大臣が指定する。主な基幹統計として総務省が管轄する国勢統計・労働力統計・社会生活基本統計、厚生労働省が管轄する人口動態統計・医療施設統計・患者統計・国民生活基礎統計、文部科学省が管轄する学校基本統計・学校保健統計、生活基礎統計は毎年小規模調査 (3 年ごとに大規模調査) が実施される。調査のうち、日本の国勢を把握することを目的として実施する統計調査をセンサスと呼び、全数 (悉皆) 調査で行われる。このなかには、日本に在住している外国人も含まれる。国勢統計、経済構造統計 (経済センサス)、工業統計、商業統計、農林業センサスは 5 大センサスと呼ばれる。なお、国勢統計は、全人口ではなく全世帯を対象とした調査となる。

2. 社会調査が与える影響

社会調査は、社会の事象や問題について調べるためであるが、社会調査の結果が現実社会に大きな影響を与えることがある。これをアナウンスメント効果という。また、最初から「現実是这样なっている」という偏見やステレオタイプ (一定の社会的現象について、ある集団内で共通に受入れられている単純化された固定的な概念やイメージ) が介在しているために調査結果を正しく分析できないなどの影響もある。社会調査においては、倫理的な配慮を徹底し、調査結果をねつ造・盗用しないことなどを自覚する。

3. 社会調査における倫理

社会調査では、調査対象者のプライバシーにかかわる個人情報扱います。このため、下個人情報保護に関する法律 (個人情報保護法) にのっとり、プライバシーへの配慮が必要である。

社会調査の分野においては、一般社団法人社会調査協会によって定められた社会調査協会倫理規程があり、これを念頭に置いた調査を行うことが求められる。仮に匿名であっても調査によって知り得た情報を話したり、インターネット上に書き込んだりしてはならない。どのような場合でも調査対象者の人権やプライバシーを侵害してはならない。また、調査を行う際には調査対象者に説明を行い同意を得ることが必要であり、インフォームドコンセントの概念が必要になる。

問題 35 国勢統計は何年ごとに実施されるか

問題 36 センサスはどのような調査方法で行われるか (例 標本調査)

提出要領

①提出期間: 11月～11月末 (それ以前に提出しても受理しない)

②使用用紙: 学校指定原稿用紙、及び学校指定解答用紙

③その他注意事項: 提出は「課題①」として一本にまとめて提出すること。

また、提出時には、それぞれの問題番号を開始ページ、及び原稿用紙下段に記入すること